

一般社団法人新潟青年会議所 2023年度 ASPAC準備委員会 海外諸大会(ASPAC)におけるブース出展の企画・実施 事業報告・決算(案)承認の件

審議

- ファイル名 : aspac_boothshutten_houkoku
- 事業名 : 一般社団法人新潟青年会議所 2023年度 ASPAC準備委員会
海外諸大会(ASPAC)におけるブース出展の企画・実施
- 室名 : 国際室
- 会議・委員会名 : ASPAC準備委員会
- 担当副理事長・専務理事 : 副理事長 : 高杉 龍司
- 担当室長・事務局長 : 室長 : 渡辺 雄太
- 議長・委員長名 : 委員長 : 新發田 巧
- 文書作成者役職・氏名 : 副委員長 : 石崎 徹
- 確認日 : 2023年 7月30日
- 確認日 : 2023年 7月30日
- 確認日 : 2023年 7月30日
- 作成日 : 2023年 7月30日

[トップ](#) / [事業要綱](#) / [事業概要](#) / [前回までの流れ](#) / [上程日程](#) / [参考資料](#) / [事業決算](#)

事業要綱

1. 事業実施に至る背景

新潟は国際都市としてインフラや国際会議を開催するポテンシャルはあるにもかかわらず、国際都市としての知名度は日本の主要都市に比べ高くありません。ASPAC誘致へ向けて、新潟の魅力を世界に発信する必要があります。

2. 事業の対象者

対外対象者: ASPACジャカルタ大会参加者

対内対象者: 新潟青年会議所メンバー

3. 事業目的 (対外)

ブース出展を通じて新潟の魅力を知ってもらい、ファンを増やすことを目的とします。

4. 事業目的 (対内)

交流を通じ、新潟の魅力を感じ、ASPAC新潟大会の誘致に向けてより意識を高めてもらうことを目的とします。

[トップ](#) / [事業要綱](#) / [事業概要](#) / [前回までの流れ](#) / [上程日程](#) / [参考資料](#) / [事業決算](#)

事業概要

1. 実施日時

■実施日 2023年5月12日(金) ※ジャカルタと日本の時差2時間

開場 現地時間 18:00

開会 現地時間 19:00

閉会 現地時間 21:00

2. 実施場所・会場

■現地

JALAN PLAZA TIMUR(ジャラン・プラザ・ティマー)

※公共公園となります。

※ザ スルタン ホテル & レジデンス西側(THE SULTAN HOTEL & RESIDENCE)

※住所Jl. Gatot Subroto Jakarta - 10002, Indonesia

3. 参加員数結果報告

・ASPACジャカルタ大会参加者: 計画500名

結果100名以上(感覚としては200名以上)

※100個用意したお菓子の「浮き星」を一人1個配布したことにより算出し、確実にブースに来場した人数を記載。「浮き星」は100個全て配布できたので100名以上と記載。

※実際、今回の会場では新潟ブースに来場された方の把握は目測では困難であり、SNSの投稿による参加人数の把握も結果的に投稿が少なく確実性に欠けてしまいました。そのため浮き星による人数のカウントに急遽切り替えました。

・新潟青年会議所メンバー: 計画 20名
結果 18名(現地参加者)

4. 広報活動結果報告

メインターゲット

対外: ASPACジャカルタ大会参加者

対内: 一般社団法人新潟青年会議所メンバー

広報スケジュール

(計画)	Facebook	Twitter	Instagram	TikTok	HP	メール	Press
事前広報	無	無	無	無	無	無	無
直前広報	5月 8日	無	無	無	無	無	無
事後広報	5月26日	無	無	無	5月26日	無	無
(結果)	Facebook	Twitter	Instagram	TikTok	HP	メール	Press
事前広報	無	無	無	無	無	無	無
直前広報	無	無	無	無	無	無	無
事後広報	6月12日	無	無	無	6月12日	無	無

5. 予算・決算総額	予算総額	¥ 149,430円	事業収支決算書(案)へリンク
	外部資金獲得金額	¥ 無	
	決算総額	¥ 149,430円	
	差異	¥ 0円	

6. 外部協力者・協力種別並びに礼状発送状況 無

7. 引用著作物の有無 無

8. コンプライアンス審査の有無 無

9. 対外配布資料の有無 無

10. 実施組織

副理事長	高杉 龍司	ブース設営 コスプレ補助
室長	渡辺 雄太	ブース設営 コスプレ補助
ASPAC準備委員会		
委員長	新發田 巧	全体統括責任者 写真撮影
総括幹事	難波 契介	ブース設営 コスプレ
副委員長	石崎 徹	ブース設営 コスプレ
副委員長	李 玟承	ブース 写真撮影
幹事	佐藤 真孝	ブース設営 コスプレ 写真撮影
幹事	大鹿 淳也	ブース設営補助
幹事	中山 麻理乃	ブース設営補助
委員	宮川 貴浩	ブース設営補助
委員	五十嵐 達也	ブース設営補助
委員	齋藤 一磨	ブース設営補助
委員	吉田 謙佑	ブース設営補助
委員	中川 芳彰	ブース設営補助
委員	小池 英隆	ブース設営補助
委員	高井 大地	ブース設営補助
委員	武田 翼	ブース設営補助
委員	渋谷 修太	ブース設営補助

委員	松尾 飛鳥	ブース設営補助
委員	多田 優太	ブース設営補助
委員	山本 龍一	ブース設営補助

11. タイムスケジュール

時刻	内容	備考
12:30	ブース出展準備、会場設営開始	
14:30	会場設営終了	リハーサル開始
16:30	ブース出展準備終了	リハーサル終了
18:00	開場	
19:00	① 開会	
19:01	オープニング映像	オープニング
19:05	② JCI日本会頭登場挨拶	麻生会頭挨拶
20:00	③ ブース案内	NOMP紹介
20:15	④ クラブタイム	
20:45	⑤ フィナーレ演奏	
20:58	⑥ 閉会の辞	豊田副会頭挨拶
21:00	閉会	

12. 事業目的達成の検証

事業目的に達した点

【対外】

■日本のカルチャーであり新潟市の魅力発信としても活用されているマンガ・アニメのコスプレを使ってJAPAN NIGHT来場者に声掛けをし、ブースに来場していただきました。そして、言葉の壁が
 ありながら、身振り手振りで新潟の説明をし、「浮き星」を一人1個、その他のお菓子を1人2～3
 個、パンフレット・配布チケットを一人1部ずつ配りました。結果全ての配布物を配り、浮き星配布
 後も来場者が途絶えなかったため、100名以上の方に新潟の魅力を発信、興味をもていただく
 ことができたと考えます。

※メンバー衣装(コスプレ・JC法被)について

遠くからも目立つため、海外の人の反応は良く、確実に新潟のブースに立ち寄っていただける効果はあったと考えます。

※配布食品について

食品に関しては全体的に興味関心をもつ方が多くいました。その中でも特にパッケージの形状から「浮き星」に興味を持つ方が多く、「浮き星」を求めて来場された方もいらっしゃいました。

※フォトフレームについて

フォトフレームがあることにより写真撮影につなげる導線として活用できたと考えます。また、ブースに参加した記録を参加者にも残せたので有効的でした。

※ブース演出材料・配布物(ポスター・パンフレット・チケット)について

ポスターは他LOMブースとの違いを演出する材料として効果があったと考えます。
 パンフレット・チケットについては配布食品とともに配りました。結果、思っていたほどの興味関心を示す方はいませんでした。少なからず反応する方もいたので、魅力発信につながったと考えます。

(全体のまとめ)

特に浮き星とばかうけ、アニメのコスプレの反応は大変良くブースに立ち寄っていただくきっかけ、新潟を知ってもらうきっかけにはとても有効的でした。
 以上のことから事業目的の新潟のブース出展を通じて新潟の魅力を知ってもらい、ファンを増やすことができたと考えます。

【対内】

■現地で参加した方は実際にジャカルタの地でASPAC・JapanNightの新潟ブースに参加し、海外の方と一緒に写真を撮ることで、新潟の魅力を再認識、そしてよりASPACの誘致についての実感がもてたと考えます。しかし、計画段階で対内アンケートを想定していなかったため、検証の材

料が少ない結果になってしまいました。※引き継ぎ事項にアンケートの実施をした方が良い旨記載しています。

事業目的に達しなかった点 【対外】
■SNS発信において、写真を撮影しSNSで発信してもらうまでの説明が、言葉の壁によりうまく伝えられなかった。その結果、インスタのストーリーにUPしたり、ハッシュタグではなくメンションしてしまう等の意思疎通のずれが起き、SNS発信数での人数把握ができず、来場者のカウントができなくなってしまいました。

※実質確認できる投稿は2件で発信に関しては検証できませんでした。

※今回使用したハッシュタグ

#2023aspacniigata、#2023aspacjapanniigata、#2023japanniigata、#aspacniigata、
#japanniigata、#japan、#niigata、#2023jakartaniigata #2023jakarta

今回ブースに来場された海外の方のSNSの使い方は日本とは違い個人として発信に力を入れている方が少なく、見ることに注力している方が多い印象でした。

【対内】

無

13. 実施上の問題点

予算上の問題点	①当初予定していた「亀田の柿の種濃厚梅ざらめ」が原材料価格の高騰により生産数が減ったため確認していた販売期間より早く販売終了となった。そのため新潟の企業でありながら、新潟のものとしてあまり知られていないが有名な「ブルボンアルフォート」に変更した。
運動上の問題点	①計画時に対内アンケートを想定しなかったため、対内事業目的達成の検証方法が明確でなく確実な検証ができなかった。
運営上の問題点	①配布物が予定より早く無くなり、時間が余ってしまい、後半に来場した参加者に新潟のアピールの場が提供できなかった。 ②動画に関して、会場が屋外でモニターのレンタルが無くパソコンのモニターで上映した。また、周りの環境音や雰囲気でも効果的に上映できていなかった。 ③フォトフレームを一つしか用意できず、写真撮影を分散できずに一カ所に固まってしまい、導線が分かっていくなくなってしまった。 ④フォトフレームを現地で組み立てたため強度に不安が生じてしまった。 ⑤広報予定日を大会の開催日直前に設定してしまったため、渡航準備に追われて事前広報が行えなかった。 ⑥事前の想定が甘く、英語の堪能なメンバー頼りの準備だったため、言葉の壁によりこちらの意図がうまく伝わらない場面が多くあった。英語が通じにくい方（特に台湾）が来場された際、こちらの意図が伝わらず、ブース参加者によるSNSを使った発信ができなかった。それによりSNSの発信で来場者カウントを取る想定だったため、それもうまくできなかった。 ⑦今回のブース出展では来場者で会場が溢れかえり人数のカウントが困難だった。
その他の問題点	①計画時に対内、対外アンケートを想定していなかったため、検証材料が不足した。

14. 次年度への引継事項

予算上の引継事項	①限定販売のような商品を選べるか、どうしても必要な場合は審議通過と同時に在庫確保を連絡し、事前に用意しておく必要があります。
運動上の引継事項	①事業の目的を確認するための参加したメンバー向けのアンケートを実施する必要があります。
運営上の引継事項	①配布物を多めに用意するか、時間配分を計算する等の工夫が必要です。もしくは、配布物がなくなっても、楽しめるアトラクション（新潟市地域を学べるボードゲーム等）を用意することも効果的と考えます。 ②会場情報の伝達も国によって違い、必要な物が無く、レンタルできない可能性があるため、極力現地での対応は考えずもっていただける物でブース設営の準備をしたほうが良いと考えます。そして、今回のような屋外会場では動画ではなくポスターだけでPRする工夫で対応する必要があります。 ③フォトフレームを複数作成し、写真撮影で渋滞が起きないようにする必要があります。そうすることにより、その後の誘導もスムーズになることが期待できます。ただ開催国によって状況は違うので、状況によって確認する必要もあると考えます。

- ④開催国の状況もあるので、困難な場合もありますが、運搬方法を輸送も含めよく検討し強度を高めたものを日本から運ぶ必要があります。
- ⑤海外で行う、かつ日本青年会議所との連携が必要な事業の場合、通常のスケジュールよりも早めに設定し広報担当委員会と相談の上、渡航しない委員会メンバーを広報担当者に据える必要があります。
- ⑥言葉の壁に関しては、予算上可能であれば通訳を手配するのが理想だと考えるが、難しい場合はメンバーで現地の言葉を話せる人に協力をお願いするか、視覚で分かるようなボードを用意する等の工夫が必要です。そして、来場者のカウントにはSNSの発信を数えることだけに頼らず、数取り器等の用意をしてカウントする必要があります。
- ⑦ブース出展等の参加人数のカウントは状況によっては困難なため、お菓子の配布数、アンケートの集計数等を使用して確実に集計できる方法を検討する必要があります。

本年の工夫と期待される効果に対する引継事項	■本年度の工夫と期待される効果 ・アジア太平洋地域で人気のアニメキャラクターのコスプレで目を惹き、新潟の名産のお菓子を配る工夫します。 ①新潟のファンが一層増える効果が期待できます。 ②ASPAC開催が新潟に決まった際にこの事業を通して新潟を知った方が新潟に来てくれる効果があると考えます。
その他の引継事項	①対外向けアンケートは、開催時の設営状況により実施が難しい場合がありますが、対内向けアンケートに関しては、現地参加していただいた方だけでも後日実施することで現地での貴重な意見を得ることができるので、実施する必要があります。 ※ブース出展等の人で溢れかえるような事業では、新潟の魅力発信をするだけでは周りに負けて来場者が見込めないため、まず新潟のブースに来てもらうきっかけを作る工夫をする必要があります。(コスプレは大変効果的でした)

15. 事業記録の保管

当日参加の新潟青年会議所のメンバーによる撮影

16. 目標と成果指標、検証方法

OKR

【Objective（目標）】

コスプレ衣装を着たメンバーと写真撮影しSNSにアップしてもらう。

【Key Results】

100名以上の写真撮影参加者。

（計画）

Objective（目標）		
参加人数の目標値達成		
Key Results		
積極的に参加者に声をかける	SNSにアップしてもらう	100名以上の写真撮影参加者

（結果）

Objective（目標）		
フォトフレームの撮影した把握できる人数は38人で目標の38%でした。 ※参考資料8の参加者の写真撮影風景より算出 「浮き星」を写真撮影しSNSにUPする人だけを対象に配布しました。その人数は100人で100%でした。 ※訪問者に浮き星を渡していない、もしくはいらないと回答した人もいたので100人以上来場しました。		
Key Results		
コスプレを効果的に使い、ブースに立ち寄ってくれた人は100人以上でした。	SNSにUPしてもらうことの条件説明が言葉の違いによる認識違いにより検索での検証ができませんでした。	「浮き星」の配布数100個を全てくばれたので、写真撮影の人数100人は達成できました。

17. 議長・委員長所見

今回初めてのブース出展をさせていただき、しかも初めてが海外ということでかなり苦労はしましたが、楽しく行てくることが出来ました。海外の方の反応も良く、コスプレの効果はかなりあったと考えます。その中でもドラゴンボールの悟空とフリーザは人気があり来場者の方々には快く、楽しく写真撮影に協力していただきました。かなり暑かったですが、みんなで楽しくブース出展

できて本当に良かったと思います。また、一緒に参加いただいたメンバーの皆様はASPACや海外諸大会の楽しさや新潟誘致に向けて、各ファンクションの流れや会場規模も伝わって新潟誘致に向けて一層と前向きになったと考えます。

一緒にブース出展に行かれた方、荷物を運んでくれた方々本当にありがとうございました。そして財政規則審査特別委員会の中山幹事には最初から最後までお手伝いいただきありがとうございました。そして何より委員会のスタッフ、難波総括幹事、石崎副委員長、佐藤幹事は現地に着いてからもブースの準備や議案の修正等、色々大変だったと思いますが皆様のおかげで無事に終わることができました。本当に感謝しかありません。引き続き残りの活動もみんなで頑張っていきましょう。ありがとうございました。

[トップ](#) / [事業要綱](#) / [事業概要](#) / [前回までの流れ](#) / [上程日程](#) / [参考資料](#) / [事業決算](#)

前回までの流れ(意見と対応)

● 第 6回財政規則審査特別委員会 事前協議

● 開催日 2023年 6月 12日 (月曜日)事前協議

意見1 「有限会社丸武古泉商店」様の領収書の日付が書き換えられている。訂正印が必要ではないか。

対応1 日付書き換え部分に訂正印を捺印してもらい、事務局に再提出しました。また、決算書の領収書も最新のものに差し替えました。

● 第 6回財政規則審査特別委員会

● 開催日 2023年 6月 12日 (月曜日)協議

意見1 大会登録キットの運搬方法に今回かなり苦労したので、次年度の引き継ぎ事項に記載してはどうか。

対応1 ブース出展とは関係ないので記載しません。

意見2 参加記念品費の「ブルボンアルフォート」の金額が個数と合わないが内訳はどうなっているのか。

対応2 業者に確認したところ、数は15個で変更なく金額が330円でしたので金額の修正をしました。

意見3 SNSの発信がとても重要だったはずだが、SNS投稿の数の集計はしたのか。12の事業目的に達しなかった点に数の記載がないが投稿0人だったのか。

対応3 集計はしましたが、現時点確認できる投稿が1件で海外の方からのSNS投稿の難しさを感じました。今回の発信をしてもらう対策は14の運動上の引き継ぎ事項②に記載はしていますが、今後発信方法はSNSが最善なのか含め検討が必要だと考えます。またSNS投稿数が1人の記載を12の事業目的に達しなかった点の箇所に追記しました。

意見4 対内に向けての検証はどうなっているのか。アンケートがないので、メンバーのSNSの投稿を調べて参考資料につけてはどうか。

対応4 対内にむけての検証は参加した人に限ってですが今回のブースに参加してもらうことで達成したと考えています。しかし、ご意見を参考に現地に参加したメンバーの各SNSの投稿数を確認した所合計3件と少ない結果になっていました。検証の材料不足だとは感じますので、今後の為、運動上の問題点・引き継ぎ事項②に問題点・対応に記載しました。

意見5 事業目的の検証を委員長所見に記入した方が良い。

対応5 参加したメンバーはより一層前向きになったと考え委員長所見に記載しました。

意見6 決算書体裁が崩れている所がある。修正していただきたい。

対応6 修正しました。

意見7 事業内容が計画と変わっているなら、補正議案が必要になる、作成し次回財審に上程していただきたい。

対応7 補正議案を作成し、次回財審にて上程します。

● 第 7回財政規則審査特別委員会 事前協議

● 開催日 2023年 7月 11日 (火曜日)事前協議

意見1 決算書の額が補正予算の額になっていない、修正いただきたい。

対応1 修正しました。

● 第 7回財政規則審査特別委員会

● 開催日 2023年 7月 11日 (火曜日)協議

意見1 SNSの発信について、やみくもにお願いしても難しいことが分かった。海外の人にとってSNSの発信について言葉の壁とは別に現地で感じたことを記載してみたい。

対応1 事業目的に達しなかった点の最後に記載しました。

意見2 議案上程スケジュール日付、体裁が崩れているので、修正いただきたい。

対応2 修正しました。

● 第14回正副理事長会議 事前協議

● 開催日 2023年 7月 19日 (火曜日)事前協議

意見1 お菓子の「浮き星」を一人1個として配布した場合の算出より計算し確実に新潟ブースに来場した人数を記載。とあるがそもそも何個用意していたのか分かりにくい。100個用意しすべて渡したので参加者100名という計算か。

対応1 ご意見のとおりです。分かりやすく詳細に記載しました。

意見2 計画時の参加員数計画も記載してはどうか。

- 対応2 記載しました。
- 意見3 運動⑥の言語の違いに対して対策はしなかったのか。
- 対応3 事前に英語でのアナウンスができるよう委員会で準備しておりましたが、英語の堪能なメンバー頼りの想定だったため、該当メンバーが対応に当たっている間に来場された方への対応が疎かになってしまいました。また、英語が通じにくい方(特に台湾)が来場された際、こちらの意図を伝えるのに時間を要してしまいました。
- 意見4 運動⑥でなぜ来場者のカウントがうまくできなかったか。
- 対応4 計画段階でSNSの発信数でカウントを取ることを想定していました。SNSの発信の有無にかかわらず確実に来場していただいた方の人数を数えることを検討していなかったことが要因と考えます。
- 意見5 運営③のフォトフレームはなぜ1枚しか用意しなかったのか、計画から1枚の予定だったのか。
- 対応5 海外に持ち運ぶことも考え当初から1枚の予定でしたが、今回は複数持っていくこともできたと考えます。しかし、今後の開催国によって状況は違うので、その都度確認、検討していく必要があると考えます。
- 意見6 運営⑤の渡航準備のため事前広報ができなかったとあるが、委員会スタッフおよびメンバーは全員渡航したのか。
- 対応6 していません。そのため、メンバーにお願いするべきだったと考えました。
- 意見7 なぜ対内の事後アンケートは実施しなかったのか。
- 対応7 計画時にアンケートは想定していませんでした。しかし実際に参加された方の貴重な意見をいただくべきと考えたため、その旨その他の問題点に記載しました。
- 意見8 その他の引き継ぎ②で現地通貨でしか対応できなかったものは何か。また破棄とは何を破棄すべきだったのか。
- 対応8 日本円を現地通貨にするための両替手数料、そしてホテルでお願いしているその手数料等がありました。今回破棄の検討が必要だったと考えるのは登録キットです。70個で約40キロ近くの荷物になりました。破棄の決断についてはどういった状況だったのかその他の問題点、引き継ぎ事項に分かりやすく追記しました。
- 意見9 他のLOMや海外NOMがどのようなブース出展があったか、その中で盛況だったブースはどのLOM、NOMでどのような内容だったか、また全体感が分かる当日のマップ等もあると次年度以降の参考になるので参考資料を付けてはどうか。
- 対応9 参考資料6、7、8で一部内容をご確認いただけます。当日の雰囲気について参考資料9を追加しました。
- 意見10 体裁が崩れている箇所が多数あるので、修正いただきたい。
- 対応10 修正しました。

● 第14回正副理事長会議

● 開催日 2023年 7月 19日 (火曜日)協議

- 意見1 参加員数結果報告で100名となっているが、目標と成果指標、検証方法には100名以上記載がある。どちらが正しいのか。100名以上来ていると考えるが、実際にはどのくらい来たのか。把握できなかったのであれば感覚でも良いので人数の記載をした方が良い。
- 対応1 参加員数結果報告には100名以上と記載します。実際には用意していたお菓子は予定時間の半分くらいでなくなったこともあり200名以上は来ていたと考えます。
- 意見2 参加人数をなぜ浮き星でカウントしたのか、理由を記載していただきたい。
- 対応2 今回の会場では新潟ブースに来場された方の把握は目測では困難であり、SNSの投稿による参加人数の把握も結果的に投稿が少なく確実性に欠けてしまいました。その旨の理由を参加員数計画に追記しました。
- 意見3 フォトフレームはしっかり作成してもっていけなかったのか。
- 対応3 今回は機内荷物でもち込めるサイズではなく、現地に輸送しようにも何処に荷物を送れば良いのか、そして確実に開催日まで届くのか保証ができませんでした。そのため国内で作成することは計画せず、紙と段ボールによる簡易的なフォトフレームを現地で作成することにしていました。しかし、今後開催地によっては輸送もできる可能性があるので、その旨運動上の引き継ぎ事項に記載しました。
- 意見4 議案上では新潟の魅力の発信に比重を置いて協議していたが、実際に現地で体感した結果「新潟の魅力を発信してブースに来てもらう」のではなく、「新潟のブースに来るきっかけを作ってから新潟の魅力発信をする」にしないといけないと感じた。今後のためにその旨その他の引き継ぎ事項に記載いただきたい。
- 対応4 その他の引き継ぎ事項の最後に記載しました。
- 意見5 実際に現地参加し分かったことだが、ブースに参加した人数の把握は困難で目測は現実的でない。別の方法でカウントする方法を引き継ぎ事項に記載した方が良い。
- 対応5 運営上の引き継ぎ事項⑦に記載しました。
- 意見6 結果事業目的達成したのか明確に記載しないと達成していないことになってしまう。アンケート等ないので委員会なりでいいので記載いただきたい。
- 対応6 対外、対内ともに委員会なりの考えを事業目的達成の検証に記載しました。

● 第 8回理事会 事前協議

● 開催日 2023年 8月 1日 (火曜日)事前協議

- 意見1 参加員数計画では500名とあるが、浮き星をもう少し、多く持って行くことは難しかったのか。

- 対応1 参加員数結果にも記載していますが、急遽浮き星の数で来場者をカウントしています。あくまでカウントするためのものでは無く配布するお菓子の一部として用意していたものなので、100個以上もって行くことは考えていませんでした。100個という数も重さとサイズを発注業社に確認し手荷物でもっていけると判断した量で数を決めていました。
- 意見2 確かに予算が変更になっているが予算内で納まっているのであれば予算上の問題点では無いのではないか。
- 対応2 今回は予算内に収まりましたが実際には金額が変動する可能性が高い事例であり、補正議案も作成しているので、予算上の問題点に記載しました。
- 意見3 体裁の崩れている箇所があるので修正いただきたい。
- 対応3 修正しました。

● 第 8 回理事会 ● 開催日 2023年 8月 1日（火曜日）審議

意見1

対応1

議案上程スケジュール

事業計画 ・ 予算				事業報告 ・ 決算			
回数	諸会議名	開催日時	議事	回数	諸会議名	開催日時	議事
● 第 3 回	正副理事長会議	2023年 2月 6日	協議	● 第 6 回	財政規則審査特別委員会	2023年 6月12日	協議
● 第 4 回	正副理事長会議	2023年 2月20日	協議	● 第 7 回	財政規則審査特別委員会	2023年 7月11日	協議
● 第 3 回	理事会	2023年 3月 6日	協議	● 第14回	正副理事長会議	2023年 7月19日	協議
● 第 3 回	財政規則審査特別委員会	2023年 3月 9日	協議	● 第 8 回	理事会	2023年 8月 1日	審議
● 第 6 回	正副理事長会議	2023年 3月20日	協議				
● 第 4 回	理事会	2023年 4月 3日	審議				

[トップ](#) / [事業要綱](#) / [事業概要](#) / [前回までの流れ](#) / [上程日程](#) / [参考資料](#) / [事業決算](#)

参考資料一覧

	種 別	資 料 名
1	電子	委員会年間事業計画
2	電子	室サマリー 委員会サマリー
3	電子	委員会中間答申書
4	電子	議案検索システム入力フォーマット
5	電子	審議通過した計画議案
6	電子	JCI ASPAC ジャカルタ大会「ジャパンナイト」ブース出展について
7	電子	ブースイメージ
8	電子	参加者の写真撮影風景
9	電子	ジャパンナイト・各国ナイトの様子
10	電子	投稿記事

[トップ](#) / [事業要綱](#) / [事業概要](#) / [前回までの流れ](#) / [上程日程](#) / [参考資料](#) / [事業決算](#)